

おおぞらだより



児童デイサービスでは、5月の季節の貼り絵で「イチゴ」を制作しました。
どのイチゴもおいしそうです！

はや夏の気配が感じられる頃となりました。この4月から、肢体不自由児療護施設おおぞらのいえ所長として勤務しています岩田と申します。

さて、おおぞらのいえは、平成20年4月1日兵庫県立のじぎく療育センターの廃止に伴い、兵庫県は総合リハビリテーションセンターの機能を活用して、新たな小児リハビリに取り組むため、小児リハ棟、肢体不自由児療護施設（おおぞらのいえ）、兵庫県立のじぎく特別支援学校分教室（おおぞら分教室）を一体的に整備し、兵庫県社会福祉事業団が指定管理の下、運営を開始して4年目に入りました。

現在、施設本体では14名の方が利用されています。また、児童デイサービスでは、2歳から5歳までの19名の方に利用頂いています。

おおぞらのいえの子ども達は、日中は分教室へ通学していますが、日常生活での具体的な目標（生活習慣や社会性を育む活動等）を設定し、子ども達ひとりひとりの障害特性や個人特性にに応じて個別あるいは集団の中で療育し、小さなことでも、自分でできたという達成感を得ながら、楽しく自立的に生活していくことを目指しています。

また、デイサービスでは、いろいろなことに取り組めるよう環境設定を丁寧に行いながら、「できることはより自立的な活動へ」、「できなことは、できることへ」を目標に個別的な療育を提供しています。

今年度も、子ども達ひとりひとりがいきいきと輝き元気で過ごせるよう、職員一同力を合わせて取り組んでいきます。どうぞよろしくお願い致します。



ごあいさつ

肢体不自由児療護施設

おおぞらのいえ

所長 岩田 宏之

「春の遠足」

熊原 知子

おおぞらのいえでは春の行事として、遠足に行っています。昨年はひまわりの丘公園に行き、今年は播磨中央公園に行きました。みんな何日も前から遠足に行く事を楽しみにしていました。当日は天気も良く遠足日和♪車中では「着いたら〇〇して遊ぶー!」や「僕は△△する!!」と楽しそうに話していました。公園に到着すると、広場でキャッチボールやローラーの長い滑り台をして遊んだり、機関車を見たりと思い思いに遊びました。

3時のおやつには、出店でかき氷やアイスクリームを買ってみんな食べました。その後は、くじ引きやヨーヨーすくいをして、欲しい物が当たり喜んでいました。

遠足での一番の思い出は、イベントで行われていたドジョウすくいでした。初めは、上手にすくう事ができませんでしたが徐々に慣れ、ドジョウをすくいあげた時には子ども達も職員も大興奮でした。

帰り道では「楽しかった。」や「来年もここに来て、ドジョウすくいたいな!今度は水槽と網持って行く!」と話していました。

来年も楽しい遠足になるよう計画していきます。





「はじめの一步」

児童デイサービス

藤本 悦子

平成20年5月におおぞらのいえ児童デイサービスが開設され、はや3年が過ぎました。その間には、様々な方に児童デイサービスを利用していただき、今もたくさんの方に利用していただいています。

当デイサービスは母子分離で未就学児が対象です。今までずっと一緒に過ごしてきたお母さんと離ればなれになるのだから、児童にとっても、それはそれは大きな『はじめの一步』だと思います。

去る3月25日、今年も『退所式』が行われました。けれど、例年と違ったのは今回、3名の児童が、おおぞらのいえ児童デイサービスから地域の小学校に向けて卒業したことです。開設後、初の就学児です。退所式は、感無量でした。職員が、感動のあまり涙がとまらず、保護者様が涙のタイミングを逃してしまっただけではと悔やんでいるほどです。

彼女たちは、それは立派な挨拶をみんなの前でしてくれました。しかし、初めからスムーズに環境に慣れたわけではありません。お母さんと離れて、淋しくていっぱい泣きました。うまく遊べないこともありました。新しい職員に人見知りもしました。でも、そんな大なり小なりの山を乗り越えて立派な小学生になってくれたのです。

4月以降は、入学式の様子の写真メールが届いたり、ランドセルを背負って遊びに来てくれたり、初日は初めての環境に驚き、泣いたけど今では給食を楽しみに学校に行っている話を聞いたり…すべてが私たち職員の日々のエネルギーになり、これからの児童デイサービスの糧となって行くことと思います。

最後に、一言

『ありがとうーあなたたちが、残してくれた足跡はみんなの宝物です。』



「ボランティアについて」

中尾 有里佳

月に1回程度、一般の社会人や近隣の大学生の方がボランティアに来てくれます。

一緒に遊んだり、紙芝居や絵本を読んでもらったり、節分やこどもの日などの行事に合った出し物をして頂き、子ども達の生活に潤いを与えてくれます。「次はいつ来るの?」「今日はボランティアさん来る日かな?」と子ども達も来てくれる日を心待ちにしています。ボランティアさんとの触れ合いを通して子ども達はたくさん笑い、「えく!!」とびっくりし、「すごい!!」と感動して、心を満たされています。



※保護者の了解を得て写真を掲載しています。

スタッフしようかい

新年度を迎え、新たなメンバーが加わりましたので、紹介いたします。



課長 橋田 浩

子どもの言動の裏には、必ず目に見えない欲求があります。一人ひとりの欲求が何なのか、一日も早くつかむようにしたいと思います。

支援員



松本 優紀

4月より、おそろのいえ勤務になりました。入所施設は初めてですが、子どもたちと一緒に元気にやっています。

児童デイサービス



菅 裕巳

4月から児童デイサービスで働いている管です。子どもたちと一緒に楽しいこと、面白いことを見つけていきたいです!!



船本 登子

趣味は、たまくりにしているバレエホールと娘(16)と息子(12)の試合の応援です。子どもたちと一緒に元氣いっぱいがんばります♡どうぞよろしく願います。

また、おそろのいえ内の異動として、中村由美子が児童デイサービス、熊原知子が支援員(入所)へ異動となりました。

気分新たに、職員一同、力を合わせて頑張ります。

「ぴかぴかの1年生♪」

中尾 有里佳

おそろのいえでは、4月に入所児1名が小学校1年生になりました。入学に向けて、自立生活訓練センターOBの早水亭様から、可愛いピンク色のランドセルを頂きました。もらった日は何度も箱から出し、「これ私の?1年生になったら使える?」と嬉しそうに話していました。1年生になった今、新しいランドセルを背負って、毎日「いってきます!!」「たっだいま!!」と大きな声で挨拶し、学校生活を楽しんでいきます。学校から帰ってきた後は、真剣な顔をして宿題に取り組んでいます。



編集後記

新しい年度が始まり2ヶ月。ちょっぴり緊張気味だった子どもたちも、新しい環境に少しずつ慣れてきたようです。子どもたちの元氣パワーはいつも全開、成長はめまぐるしく、頼もしく思います。これからも、職員一同、子どもたちの成長を見守りながら、より良い支援ができるように努めていきたいと思えます。

なお、機関紙「おそろだより」は年2回の発行を予定しております。次回の「おそろだより」も楽しみにお待ち下さい。

